



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

怒りの抗議行動



「6.25支庁制度改革案抗議行動」には、浦河町と江差町を中心に300人が結集した。6月25日、道庁前で抗議のシュプレヒコール

支庁再編

数の力で強行可決

道本部 高橋知事に抗議

会期を1日延ばした第2回定例道議会は、6月28日未明、現在の14支庁を「9総合振興局・5振興局」に再編する「道総合振興局設置条例」を与党(自民党・公明党)多数の力で強行可決した。道本部は次のような見解を出した(見解全文は、道本部ホームページ・6月30日に掲載)

北海道は、現在の14支庁体制となった1910年(明治43年)から98年、歴史的な制度変更である。60年前の条例制定に先だって、支庁所管区域を「9支庁」に再編する答申が出されたが、市町村、地域住民、経済団体ばかりか道庁内部からも強い反発が起こり、結果的に14支庁体制が存続している。戦後北海道の自治体制がスタートしたという経緯がある。今回も、市・町村の地方4団体や、住民、地域経済団体、民主党・連合

大騒ぎのサミットが終了した。高速道路はもちろん、一般道路も封鎖。北海道住民は不便を強いられた。全国の警察が動員され、背中には各県の看板をしょっている。中には各県の看板をしょったの留守の間、地元は大丈夫だったのか? サミットの成果はいかに?!

朝風

値上げ、値上げ、値上げ。どれもこれも値上げだ!これに対抗するのは「質上げ」のほかにない。政府もこのままじゃ「無策」と言われてもしょうがない。どこの国でも暴動やらデモが始まっている。日本人ももう黙ってはいけなぬだ。

ばかりか、与党議員の一部からも強い反対があった。高橋知事と自民党は、これを押し切って強行可決した。道本部は昨年、北海道における「新しい自治の姿」を具体化していくための見解をまとめ、また今回の第2回定例道議会の開会に当たっても、「さらには慎重な検討と現在の支庁制度改革案の撤回を求める」との考えを明らかにしてきた。

支庁制度改革は、掘道政下で進められてきた「地方分権型」道政改革では、総仕上げとして討議されてきたものであった。地方分権改革の先駆的モデルとして、全国的にも高い評価を受けたこの道政改革運動は、高橋道政下で止められ、後退し、今回の支庁制度改革の強行で、ついに停止させられた。



写真左が杉谷副委員長、右手前が道企画振興部地域行政局・河合局長、右が夕張市職労・厚谷委員長

傾斜した地方分権型道政改革運動を再び推進するためには、新しい道政・新しい知事によるリーダーシップが必要だ。高橋道政には、もはや「地方分権」「地域主権」「道政改革」という言葉を使う資格はない。道本部は、今回の支庁再編を強行可決した高橋知事と自民党に対して強く抗議するとともに、引き続き、国政の場で、条例施行の条件とされた道議選挙区を定めた公職選挙法改正に反対する取り組みを行う(ホームページをご覧ください)。情報はご確認下さい。

財政再建に関する要請↓道が回答

「夕張に直接入り精査する」

6月12日、道に提出した「夕張市の財政再建に関する要請書」の回答が6月30日に出され、回答を受けての交渉を行った。交渉には道本部・杉谷副委員長、石上自治体政策部長、夕張市職労・厚谷委員長などが参加した。夕張市が、財政再建団体として1年を経過したが、その中で多くの課題が明らかになっている。具体的

私の視点

日本社会を壊した小泉改革

参議院議員 相原久美子



小泉政権の改革は、「自民党をぶっ壊す」ではなく、日本社会を壊しました。秋葉原の事件を正当化しませんが、若手25歳の青年に「人生に疲れた」と言わせ、未来に展望を持たせなかったのは、言うまでもなく、「弱肉強食」競争社会を容認する政治を推し進めた結果が現れたのではないのでしょうか。「こんな社会を何とかしないで」との思いでしたが、当面する国会運営に対応するの精一杯だったような11カ月

JICHIRO スケジュール

2008年7月
16日(水) 全道野球大会開会式 (大会~20日、網走市)
19日(土) 介護集会・福祉人材確保公開シンポジウム (札幌市)
22日(火) 道本部第21回執行委員会 (札幌市)
25日(金) 全道女子バレーボール大会開会式 (大会~26日、札幌市)

2008年8月
5日(火) 道本部第22回執行委員会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 [検索](#)
ユーザー名: douhonbu
パスワード: jh2007

家計応援!!

ろうきんローン
スペシャルキャンペーン
2008年7月18日(火)~11月30日(日)

10,000円分プレゼント!

どうする!?

プルサーマル

VOL.3

先行していた原子力先進国はすべて高速増殖炉開発から撤退しています。なぜなら、軽水炉に比べて危険性が高く、安全対策に巨額を要し、核拡散の危険が増大すると言われているからです。

高速増殖炉推進政策の破綻は、先送りされてきた原発使用済み核燃料処分問題をにわかに浮上させました。六ヶ所再処理工場の有る青森県と各原発立地は、先送りされてきた原発使用済み核燃料

の将来を危惧して、使用済み核燃料の受け入れや貯蔵量の増加を忌避したのです。八方ふさぎの事態を打開するには、プルサーマルの新たな使い道が必要となりました。それがプルサーマルだったので

す。プルサーマルが長年放置され、「もんじゅ」事故後、突如あわただしく動き出した事実を見れば明らかです。国は、高速増殖炉に変わり得るプルサーマルの必要性を説く必要に迫られました。しかし、原子

力政策である高速増殖炉を中心とする核燃料サイクル計画破綻の後始末である「余剰プルサーマル」の焼却や負の遺産対策である「高レベル放射性廃棄物の低減」では到底納め出せるものではありません。そこで、ま

かしの「資源有効利用」を持ち出す一方「プルサーマルは使用済みウラン燃料の総合的管理策の一環」として、原子力政策破綻を隠すために「再処理政策の一環である」と理由付けせざるを得なくなっているのです。

守り、平和憲法を守ることと伝え、訴えて行こう。そうでなければ草の根、地域が壊される。自立心を持って人権侵害、諸悪の根源と闘っていかう」とあいさつした。

総会の閉会にあたって、江本代表は「山田代表を中心と頑張っていきたい。戦争も核もない世界は人権を守ることだ」と述べ、「フォーラムの運動がなければ日本はどうなっていくのかわからない。反対するものがいて権力の暴走を止めることができる、私たちの運動はやめるわけにいかない」とあいさつした。

たい。戦争も核もない世界は人権を守ることだ」と述べ、「フォーラムの運動がなければ日本はどうなっていくのかわからない。反対するものがいて権力の暴走を止めることができる、私たちの運動はやめるわけにいかない」とあいさつした。



就任のあいさつをする山田代表委員 (写真中央) = 6月27日

道平和運動フォーラム 第9回総会 代表に山田副委員長 権力の暴走止めるフォーラム

6月27日、札幌市内で第9回道平和運動フォーラム総会が開かれた。総会では、道本部・小椋山政治部長が「プルサーマル計画」反対する取

り組みについて発言した。今後、道や国へのはたらきかけの強化や、「日本の原子力政策大綱」に対する「再検討すべき」という福島県知事名の意

見書について述べ、これを教訓化していくべきだと話した。道平和運動フォーラムは、これまで、さまざま

な市民団体と共闘し連携を深め、反核・平和・人権の運動を行ってきたが、新たな組織拡大方針として、市民団体の加盟

助言者会議の組織化、個人会員制度を確立するための3号議案を承認し、幅広く市民とともに活動していくことを決めた。

本総会で、新代表に道本部・山田副委員長、箱山富美子さん(藤女子大教授)、事務局長に瀧本司さん(北教組)、幹事に杉谷副委員長が選出され

た。川口事務局長(自治労)は退任した。山田新代表は「平和を

連合の平和運動強化期」間のスタートとなる「2008平和行動in沖縄」が6月21日〜24日まで開かれ1600人(北海道14人)が参加した。

2日間の独自学習を終え、23日は、那覇市民会館で開かれた「平和オキナワ集会」で、連合北海道・三浦副会長(道本部委員長)が、平和メッセージとして、北海道の反戦・平和闘争の取り組みを報告した。また、連合沖



報告する三浦副委員長、左は『ピースフラッグ』

縄のより、次の平和行動の地、連合広島にピースフラッグが手渡された。6月23日は、62年前、国内で唯一の地上戦となった沖縄戦が事実上終結した日にあたる。

24日は、連合沖縄青年委員会メンバーのガイドによる「ピース・フィールドワーク」と、米軍基地の整理縮小と日米地位協定の改正を求める集会とデモ行進をした。

NHKスペシャルで、大きな反響をよんだ番組、「ワーキング・プア」の作成にあたった春原さんが、さまざまな取材の中で感じたことを話した。

「ワーキング・プアの問題は、社会とのつながりや人間としての尊厳を失い、精神まで壊れていく。働くということは何なのか。働くことの価値や意義を社会が認めてくれない」と述べ、

「労働者も組合も分断され、労働者同士が対立し足を引っ張っている。いろんなイデオロギーはあるが、この社会を何とかしていかなければいけない。枠を超えて同じような境遇の人が声を上げていかなければならない」と話した。

連合が沖縄で平和行動 三浦副委員長が平和メッセージ

連合の平和運動強化期

2008平和行動in沖縄

6月21日〜24日

1600人参加

反戦・平和闘争



交流会集ではNHKスペシャルの「ワーキング・プア」が紹介された=6月28日、自治労会館

6月28日、自治労会館で、道本部臨時・非常勤等職員連絡会議(議長・高野美枝子)第15回総会・第24回全道交流会集を開き、20単組・総支部87人が参加した。

総会では、経過報告、08年度活動方針、新役員体制を確認し閉会した。交流会集では、「ワーキング・プア」をテーマに、春原雄策さん(NHK広島放送局・放送部報道番組チーフ・プロデューサー)が講演した。

通常国会が閉会しましたが、「われ」の中「葉書肝炎救済法」など議員立法が17本も成立する国会でした。その中に「ハンセン病問題の解決」も含まれていました。この法

た。しかし入所者の方たちのこれらの生活や、依然として残る差別問題など課題となっており、終生の場とする方も多い療養所の機能も、高齢化による入所者減に、縮小・廃止も囁かれています。この法

忙中余話

梅雨の東京出張、コンビニでビールを買った。今までは持ち帰るのも億劫で、宿泊先の部屋に、こっそり置き去りにしていた。日本における傘の年間消費量は約1億2千万本。世界中でもタンクトップの数字とか。そもそも、繰り返し使えるものなのに、人口割では1人年約1本の消費量。そこか、既に私もこの数字に貢献している。今回は持ち帰ろうと向かった飛行機内への荷物預かり。鞆と共に傘を預けた

きんちゃんの国会だより

金田誠一 (45)

ハンセン病問題、真の解決のために

通常国会が閉会しましたが、「われ」の中「葉書肝炎救済法」など議員立法が17本も成立する国会でした。その中に「ハンセン病問題の解決」も含まれていました。この法

律で、療養所での生活の保障や地域開放による住民との交流、退所者の社会復帰支援、名誉回復、死者の追悼、親族への援助など明記されました。平均年齢80歳の方たちへ、早急な支援が求められています。